

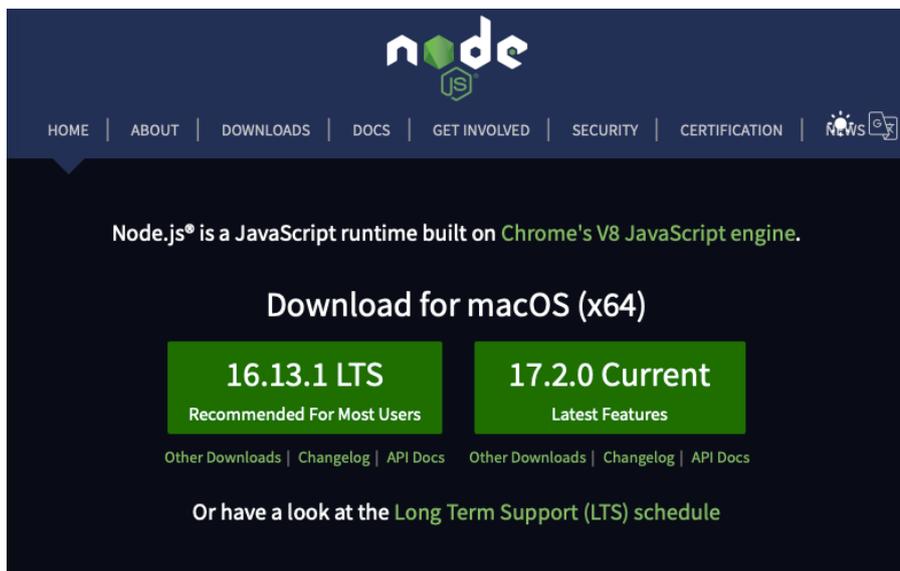
付録 A

SmrAI 利用ガイド

1. 環境構築

1.1 Node.js のインストール

<https://nodejs.org> より Windows 用のインストーラーをダウンロードする。LTS 版をダウンロードしてインストールすれば良い。

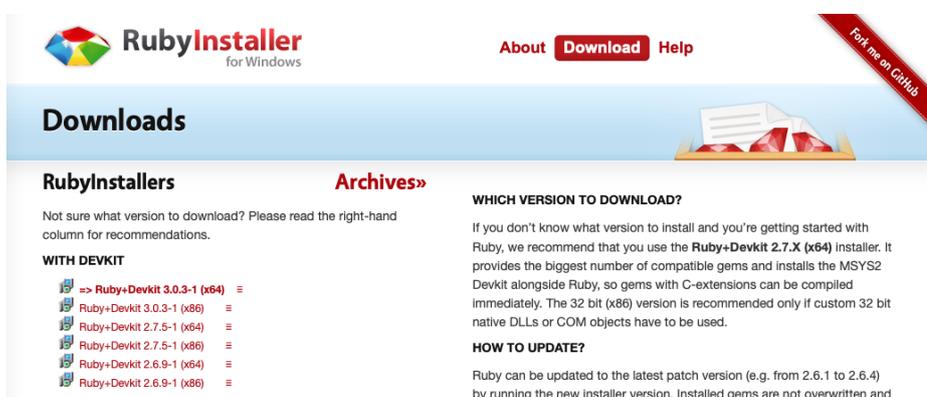


コマンドプロンプトを立ち上げ、node, npm のバージョンを確認しておく。

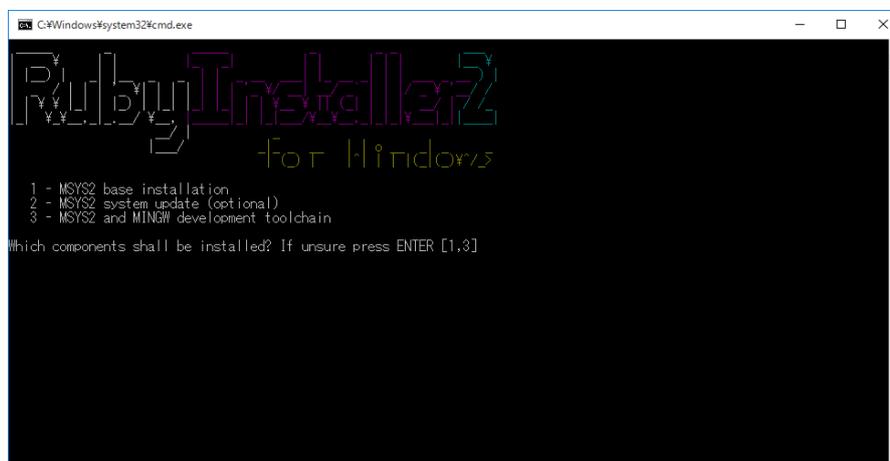
```
> node --version  
> npm --version
```

1.2 Ruby のインストール

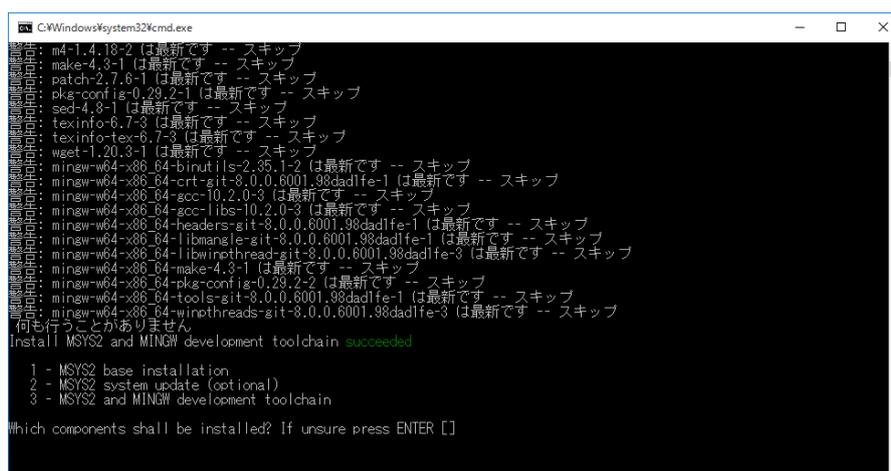
<https://rubyinstaller.org/downloads/> より Windows 用のインストーラーをダウンロードする。WITH DEVKIT の **Ruby+Devkit2.7.5-1(x64)** をインストールする。



インストール後にコマンドプロンプトが起動し、以上のような画面になるので、そのまま Enter キーを押せばよい (Enter キーを押すことで、1:MSYS のインストールと 3:開発に必要なツールチェーンのインストールが実行される)



「succeeded」と表記されたら無事にインストール終了



2. SmrAI の利用

2.1 アプリの起動

コマンドプロンプトを立ち上げ、必要なりポジトリをクローンする

```
>git clone https://github.com/gfd-dennou-club/electron_SmrAI.git
```

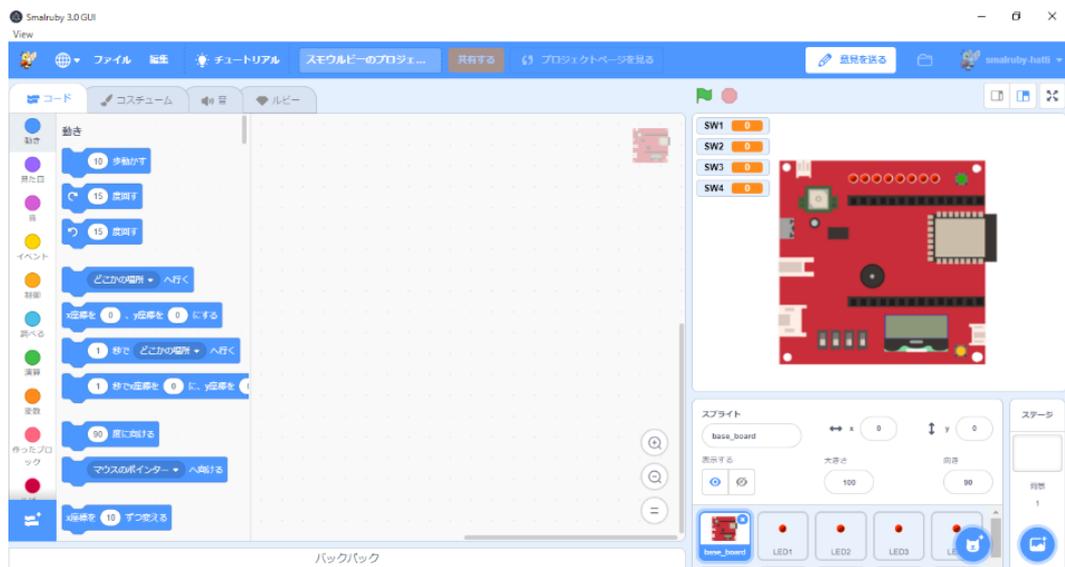
必要なモジュールを取得する

```
>cd electron_develop
```

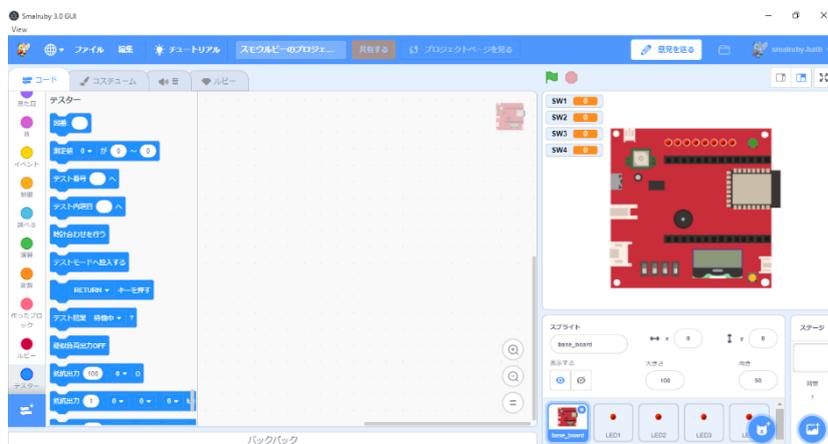
```
>npm install
```

SmrAI を動かす. コマンドを打つと以下のような画面が開く.

```
>npm run electron app
```



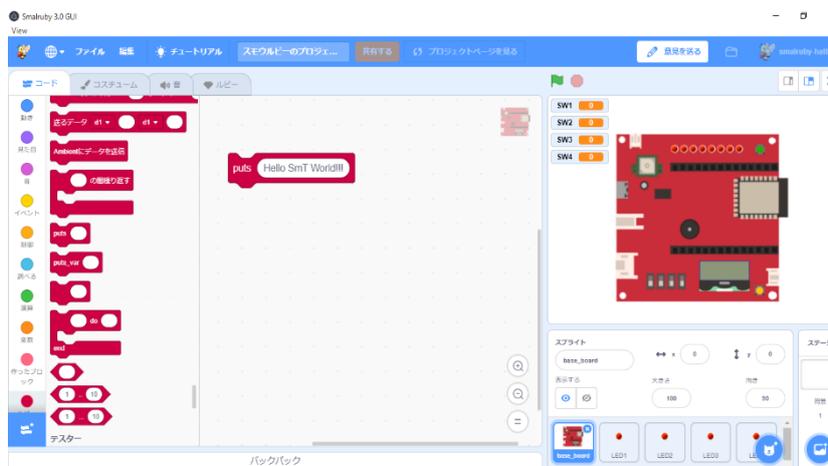
2.2 プログラムの作成



自動検査に必要なブロック群は主に「テスター」「テスター2」カテゴリにまとめられている。

適宜、必要なブロックをドラッグ&ドロップしてブロックを組み立てる。

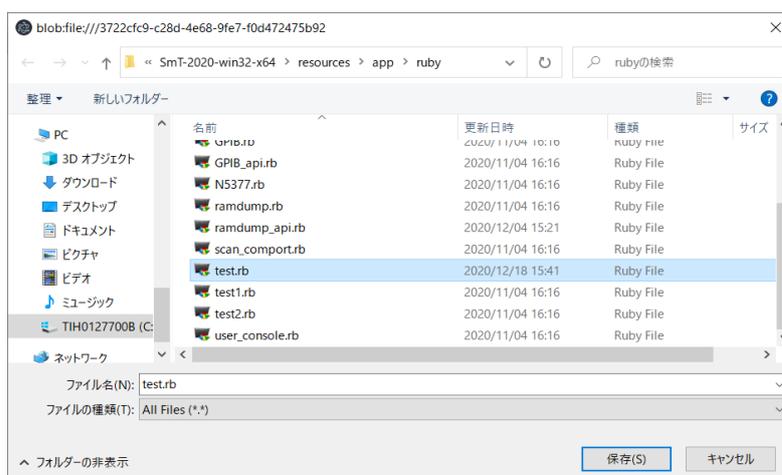
2.3 プログラムの実行



ここでは例として、「Hello SmT World!!!」と表示するプログラムを実行する。



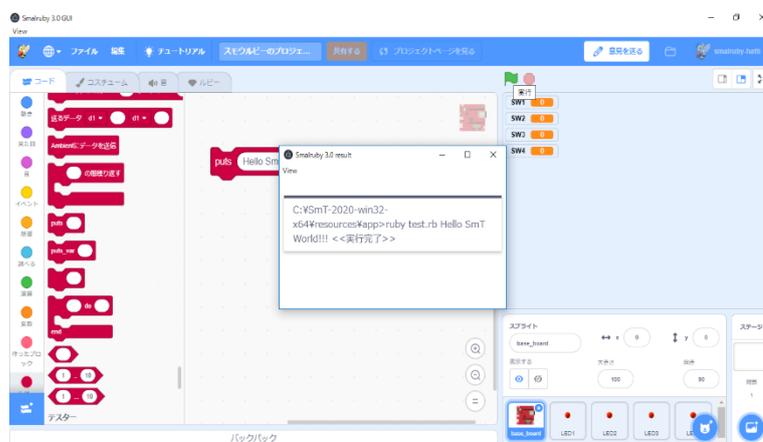
プログラムを作り終わったら、画面左上部の「ファイル」→「コンピュータにルビーを保存する」をクリックする



保存場所：[任意のフォルダ]¥SmT-2020-win32-x64¥resources¥app¥ruby 直下
 保存ファイル名：test.rb
 として、保存する。



保存が完了したら、画面右上部にある緑色の旗をクリックすることでプログラムの実行を行う。



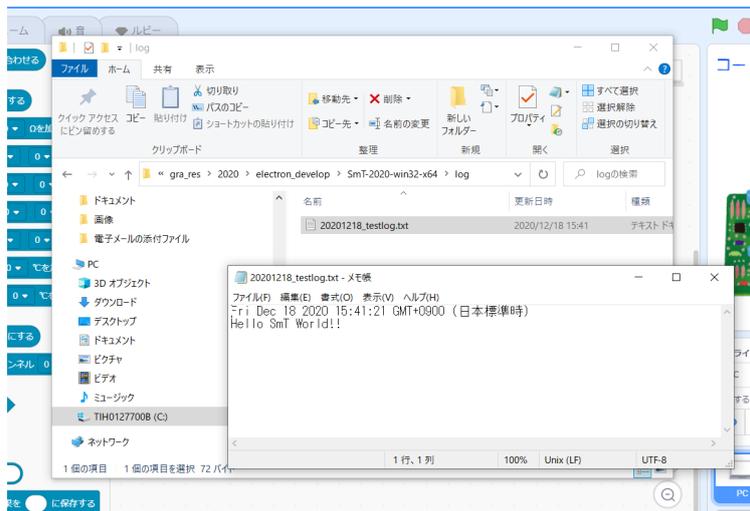
実行すると別ウィンドウが開き、実行した結果がそのまま表示される。
 最後に、<<実行終了>>と表示されれば OK

2.4 ログファイルの確認

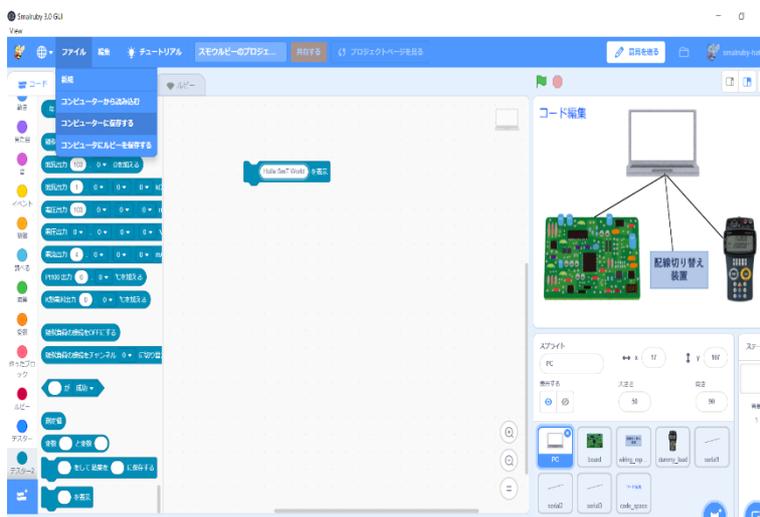
プログラムの実行が終了したら、実行結果の内容がログファイルに残る

保存場所：[任意のフォルダ]¥SmT-2020-win32-x64¥log

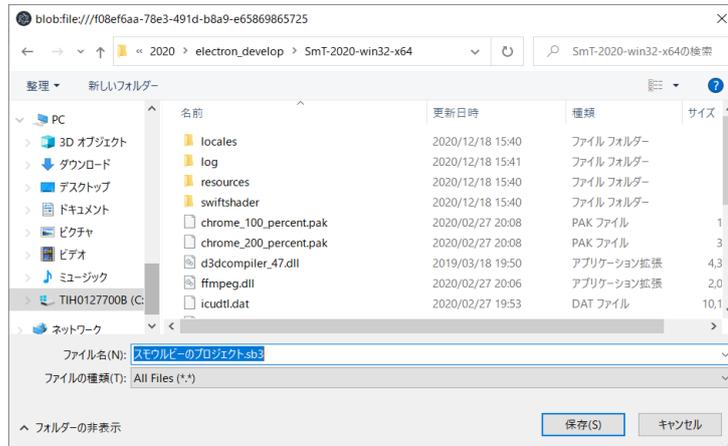
保存ファイル名：[検査日]testlog.txt



2.5 プロジェクトフォルダの保存

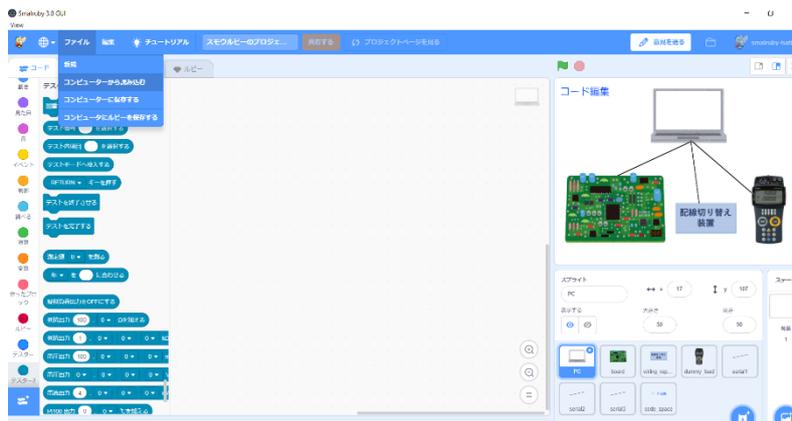


画面左上部の「ファイル」→「コンピュータ保存する」をクリックする

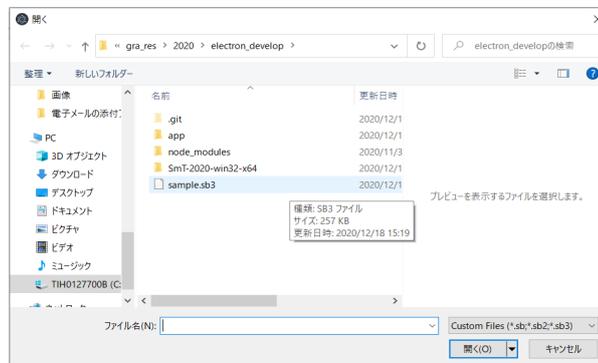


以上のウィンドウが表示されるのでプロジェクトフォルダを保存する
 保存場所：任意の場所
 保存ファイル名：任意の名前.sb3

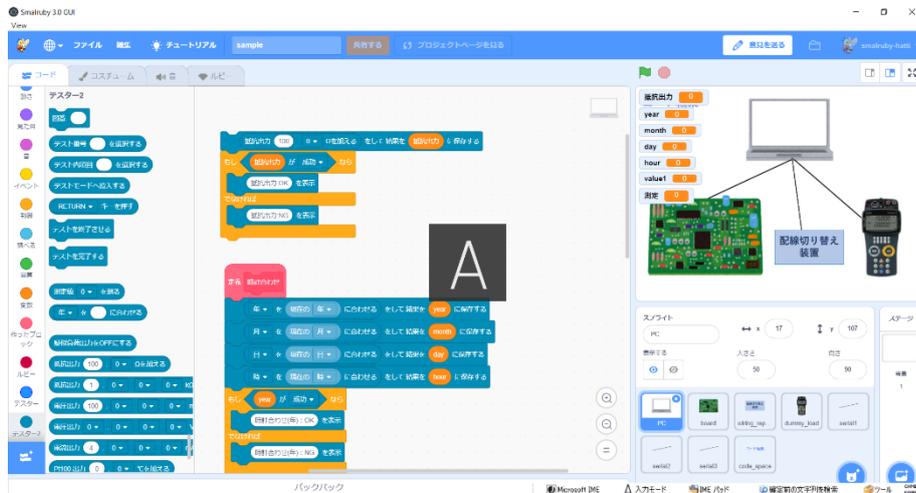
2.6 プロジェクトフォルダの読み込み



画面左上部の「ファイル」→「コンピュータから読み込む」をクリックする



読み込みたいプロジェクトフォルダを選択する



ブロックコードが表示されれば、読み込み完了

3. 補足事項

- ✓ ルビーからブロックへの変換はまだ実装していないため、ブロックを組み終わった後、ルビータブ内でプログラムの変更や修正を行うとブロックに変換できなくなります。(ファイル保存や実行は出来ます)

